

## 「合格者の声」より ー東大合格者2名の声ー

4月4日(火)に本校1階の進路室前の掲示板に「合格者の声」が貼り出されました。これは、今春卒業した4回生が後輩たちへのメッセージとして送ってくれたものです。その中から2名の声を掲載します。東京大学文科三類に合格したYさんの文章は、4月6日(木)の始業式で進路指導主事の小松崎先生が読み上げたものです。東京大学理科三類に合格したN君の文章を読んで、私は、たいへん感動しました。生徒の皆さんは、下の文章をよく読み、「夢(ドリーム)」に向かって一步一步着実に歩んでください。

※「並木ドリーム」への掲載については、本人の許可をもらっています。

●合格校：東京大学 文科三類 ★在学中の部活動：吹奏楽部・百人一首同好会

私は塾に通うことなく、学校の勉強だけで合格することができました。並木は素晴らしい先生方が多く、課外も豊富で、とても役に立ちました。フライトホールという快適な学習環境も整っているので、在校生の皆さんは是非、学校を最大限に活用すべきだと思います。

受験を通して「主体的に学ぶ」ことの大切さを感じました。受け身で授業を聞いていても何の役に立たず時間の無駄です。しっかりと予習をし、そのときに持った疑問点を全て解決しようという意識を持って授業や課外に臨んで下さい。

一番重要なことは、勉強を好きになることです。苦手でもよいので「好き」「楽しい」という気持ちを持って勉強して下さい。楽しんで勉強することで必ず知識は身につきます。頑張ってください！！

●合格校：東京大学 理科三類 ★在学中の部活動：ハンドボール部(キャプテン)

受験の中で一番苦しかった経験を書きたいと思います。一番苦しかったのは、出願の決断を下すまでの時間でした。僕は脳科学の研究がしくて理三を志望しましたが、僕の実力は合格ラインギリギリで、仮に入っても底辺から理三の怪物達を押しつけて希望の研究室に入る自信がありませんでした。又、理二でも似た研究に関わる機会があり、理二の「似た研究」で妥協するか、ギリギリの勝負に挑み、その先も闘い続けるかの二択に悩まされました。

僕は一週間できるだけ多くの人の助言を頂き、その後半日自問自答を続けて答えを出しました。「僕のやりたいことは脳科学の研究で、理三に行くことは最初にして最大のチャンスだ」と。もちろん、他の道も多くあります。どんな大学へ行こうとも、頑張ればやりたいことはできるはずですが、しかし、初めて目の前に現れた道に踏み出そうともしないで回り道を選んでしまえば、この先どんな道が見えても逃げ出してしまうような気がしました。

これから受験をする皆さんには、どうか自分のやりたいことを基準に大学を選んでほしいと思います。やりたいことへの強い気持ちは、最後の最後で非常に強い力になります。つらい時には周りの人に頼ってください。僕はとても多くの人に支えられてここまで来ました。本当に感謝しています。皆さんも必ず支えてもらえるはずですが、これから頑張ってください。応援しています。

